

## 1, 300年前の遊びが現代に蘇る！

奈良文化財研究所の研究員を招き、伊場遺跡で「かりうち」対戦イベントを開催  
— 地元の高校生たちが古代ボードゲームの魅力を体験 —

浜松市博物館は、奈良時代の重要遺跡「伊場遺跡」において、古代の盤上遊戯「かりうち」の特別体験会を開催いたします。本イベントでは、古代遊戯研究の第一人者である奈良文化財研究所の研究員を講師としてお招きし、そのルールや歴史的背景を解説いただきます。また、当日は地元の高校生たちが対戦相手として参加し、世代を超えて地域の歴史遺産の魅力を再発見する場を創出いたします。ぜひ取材にお越しくください。

### 記

- 1 日時** 令和8年2月8日（日）13時15分～15時50分
- 2 会場** 伊場遺跡公園（浜松市中央区東伊場2丁目）
- 3 内容**
- ・特別講義：古代の盤上遊戯「かりうち」とは  
講師：小田祐樹（奈良文化財研究所 主任研究員）
  - ・実演・対戦：高校生と来場者による「かりうち」対戦会  
天竜高等学校生徒、奈良文化財研究所職員、浜松市博物館職員
  - ・伊場遺跡解説：講師：鈴木一有（浜松市博物館長）
- 4 見どころ** 現代に蘇る「かりうち」  
「かりうち」は、万葉集にもその描写があり、今も韓国で遊ばれている「ユンノリ」とも親戚関係にあるとされる古代のボードゲームです。平城京跡の出土品をもとにルールを復元した専門家の解説を聞きながらプレイできる、全国的にも稀な機会といえます。
- 5 取材対応** 当日は専門員へのインタビュー、および高校生と参加者が交流する様子の撮影が可能です。当日の取材をご希望の場合は、前日までに下記までご連絡ください。  
浜松市博物館 電話：053-456-2208（直通）